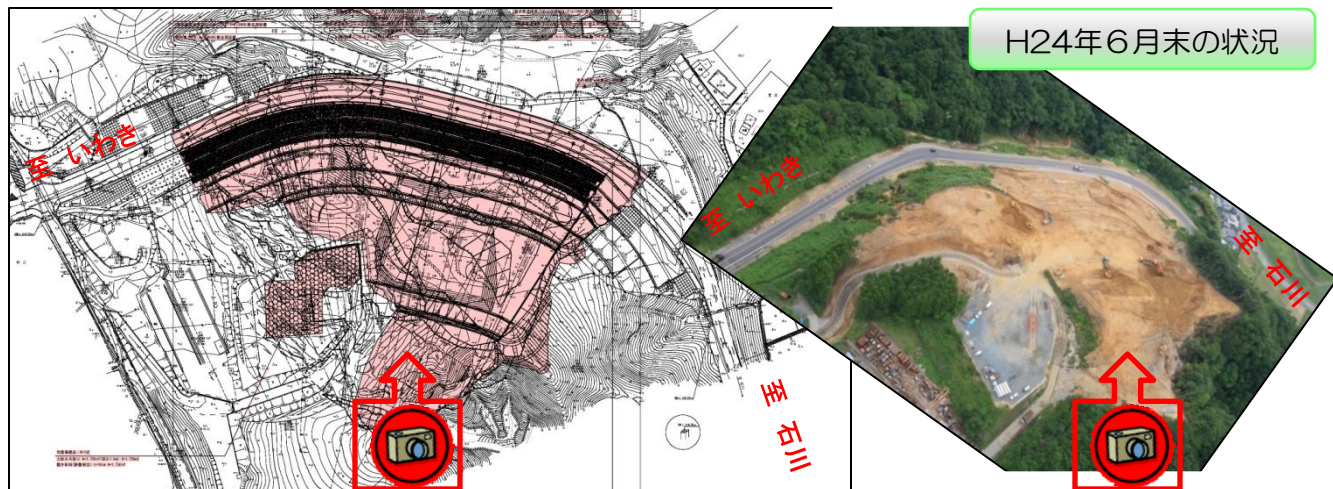


いわき石川線 大規模地すべり災害復旧工事 最新情報

1. 工事はどこまで進んだのですか？

■上釜戸工区

現在、下から数えて4～6段目の土砂除去を行っており、7月末現在で6段目が完了し、これまで約7万m³（ダンプトラック約14,000台）の土砂を小名浜港へ運搬しました。



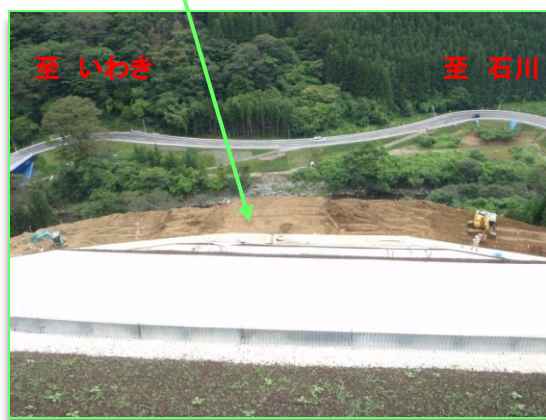
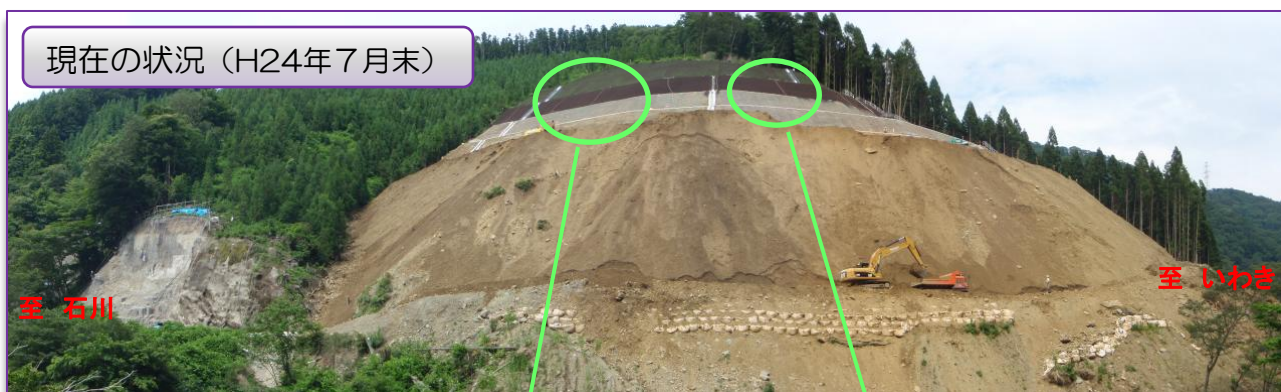
■才鉢工区

現在、土砂除去と斜面補強工事を行っており、7月末現在で全10段中下から数えて6段目までの土砂除去（約2万m³：ダンプトラック約4,000台）と、8～10段目の斜面補強工事（植生基材吹付工）が完了しています。また、旧大原小学校跡地（古殿町）への土砂運搬も継続して行っています。

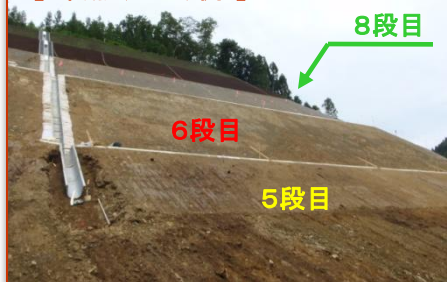
H24年6月末の状況



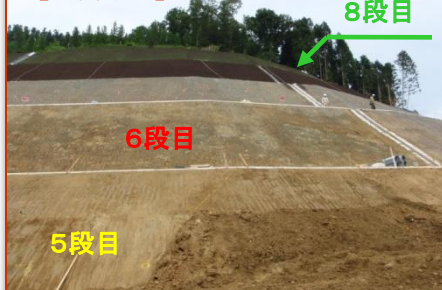
現在の状況（H24年7月末）



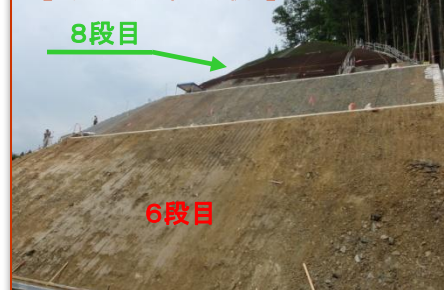
【 終点(石川側) 】



【 中間点 】



【 起点(いわき側) 】



土砂除去及び斜面補強工事の施工状況（全10段中下から数えて6段目までの土砂除去が完了）

2. 小名浜港へ運んだ土はどうするのですか？

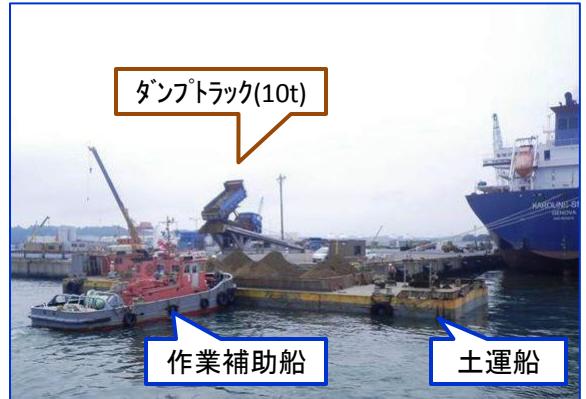
■東港への流用土運搬

小名浜港（藤原埠頭）に運ばれた土砂は直接ダンプトラックから土運船に積み込みます。東港へは2隻の土運船（押航式・曳航式）を交互に使用して効率良く土砂を運んでいます。（その日の気象条件にもよりますが、1日当たり（運搬回数3回の場合）約1,500m³の土砂を運べます。）

底全開式（船底を全開にして土砂を投入する方式）の土運船を使用して、東港に運んだ土砂はその都度指定された投入場所上で船底を開いて投入しています。



土運船への積み込み状況（埠頭側）



土運船への積み込み状況（海側）



土運船運搬状況（押航式）



土運船運搬状況（曳航式）



東港への土砂投入状況（開始）

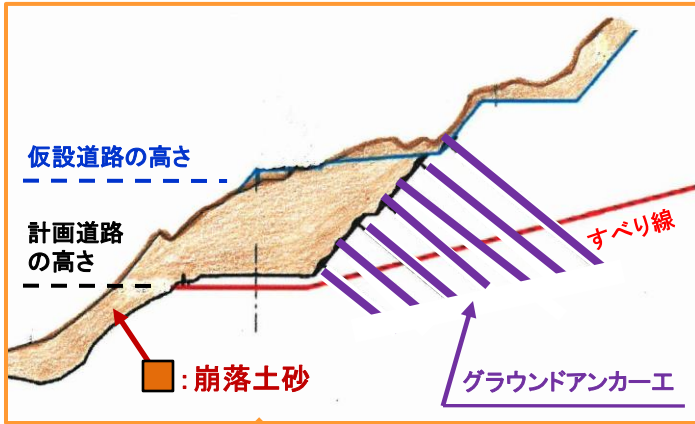


東港への土砂投入状況（完了）

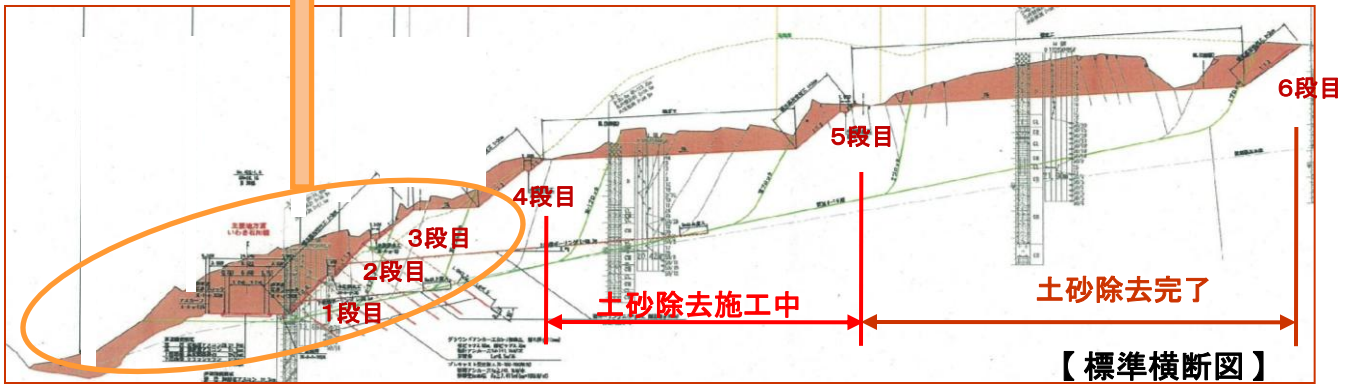
3. 今後どのような工事を行うのですか？

■上釜戸工区

今後も崩落した斜面の土砂除去を行うとともに新たに斜面補強工事（グラウンドアンカー工・植生基材吹付工）を行います。



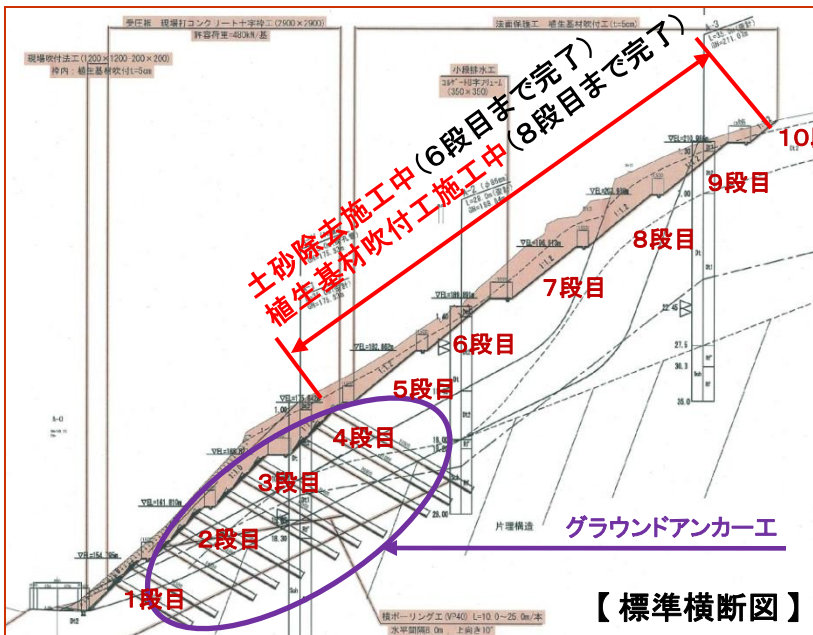
グラウンドアンカー工試験施工状況



【標準横断面図】

■才鉢工区

今後も土砂除去と斜面補強工事（植生基材吹付工）を行いながら、新たな斜面補強工事（グラウンドアンカー工）を行います。



【標準横断面図】



植生基材吹付工施工状況



グラウンドアンカー工試験施工状況

4. 河川環境の保全に努めています！

7月11日に鮫川水系で鮫川漁業協同組合によるヤマメ稚魚5万匹の放流が行われました。才鉢工区の工事に携わっている「福浜大一・常磐開発・渡辺組JV」は稚魚1万匹の購入に協力し、当日の放流にも職員が参加するなど地域貢献に努めています。



ヤマメ稚魚の放流状況



放流され元気に泳ぐ稚魚

5. 私達にまかせてください！

平成24年3月19日に工事に着手して以降、「いわき石川線の復旧無くしていわき市の復興無し！」をスローガンに、過酷な現場条件の中、上釜戸工区・才鉢工区ともに1日も現場を止めずに無事故で工事を進めて来ました。

これからもJV職員と協力会社の職員とが一丸となって安全第一で作業を進めるとともに、発注者と一体となって品質の高い道路造りを実践して行きますので今後とも皆様の工事に対する御理解と御協力をお願いします。

■上釜戸工区

(渡辺組・常磐開発・福浜大一JV)



猪狩現場代理人(前列右から2番目)

■才鉢工区

(福浜大一・常磐開発・渡辺組JV)



古川現場代理人(前列右)

【事務担当】

復旧・復興課 道路・橋梁復旧担当 主任主査 渡邊 敦宏 電話：0246(35)6075